

# 放射線治療

## D. 放射線治療

### 1. 人員(平成24年4月1日時点)

(ア)放射線治療部門の職員配置人数をご記入ください。

- ① 医師:非常勤医師や大学院生については、実働数もお答えください。

【例】2名が、週3日と週4日であれば、実働延べ人数は1.4人。

職種	人数	うち治療専門医	実働人数	
助教以上	5	5		
医員			総数	治療専門医
非常勤	1	0	9	6
大学院生、研究生	3	1		

- ② 放射線技師・医学物理士・品質管理士:非常勤の放射線技師は、実働人数もお答えください。

職種	人数	うち放射線治療 専門放射線技師	実働人数	
放射線技師(常勤)	7	0	総数	放射線治療専門放射線技師
放射線技師(非常勤)	1	0	8	0
医学物理士	2	0		
品質管理士	0	0		

- ③ 看護師:非常勤看護師は実働人数もお答えください。

職種	人数	実働人数
看護師(常勤)	2	1.5
看護師(非常勤)	0	0
看護助手	0	0

- ④ 事務職員・事務補佐員:実働人数もお答えください。

職種	人数	実働人数
事務職員	3	2
事務補佐員	0	0

### 2. 設備(平成24年度に稼動した設備・装置)

(ア)実動している医療用直線加速装置(リニアック)およびマイクロトロンをご記入ください。

※ここでは定位X線照射専用装置を除外し、次項目に記載ください。

	マイクロトロンに※	導入年度(西暦)	年間延べ照射回数(平成24年度)		
			総数	うち定位照射	うちIMRT
装置①		1999	3063	0	0
装置②		2006	6602	179	3059
装置③		2006	6338	8	536
装置④					
装置⑤					

# 放射線治療

(イ)実動している定位X照射専用装置(サイバーナイフ等)をご記入ください。

	導入年度(西暦)	年間延べ照射回数(平成24年度)
装置①		
装置②		
装置③		

(ウ)実動している定位コバルト照射装置(ガンマナイフ)をご記入ください。

	線源	導入年度(西暦)	年間延べ照射回数(平成24年度)
装置①	Co	2006	144
装置②			
装置③			

(エ)実動している高線量率腔内照射治療装置をご記入ください。

	線源	導入年度(西暦)	年間延べ照射回数(平成24年度)
装置①	192Ir	2000	118
装置②			
装置③			

(オ)実動している位置決め撮影装置をご記入ください。

	種類(X線 or CT)	導入年度(西暦)	年間延べ患者数(平成24年度)
装置①	CT	2006	3038
装置②			
装置③			
装置④			

(カ)実動している治療計画装置をご記入ください。

	装置名	導入年度(西暦)	年間延べ治療計画数(平成24年度)
装置①	P社 pinnacle7.4	2002	1229
装置②	PLATO	2000	118
装置③	Interplant 3.4.0	2007	9
装置④	Leksell GammaPlan	2010	144
装置⑤			
装置⑥			

(キ)使用している低線量率密封小線源をご記入ください( $^{198}\text{Au}$ 、 $^{125}\text{I}$ など)。

	線源名	年間延べ患者数(平成24年度)
線源①	125-I	9
線源②		
線源③		
線源④		

# 放射線治療

(ク)実動している温熱治療装置をご記入ください。

	導入年度(西暦)	年間延べ患者数(平成24年度)	加温方式	その他の場合記載
装置①				
装置②				

## 3. 治療数

平成24年度に行った治療についてお尋ねします。

(ア)年間治療患者数：平成24年4月1日から平成25年3月31日

※別期間の治療は、2名としてカウントしてください。

※照射回数に関わらず、一連の治療は1名としてカウントしてください。

※同一期間の2部位の治療も、1名としてカウントしてください。

照射方法	外来	入院
外照射	665	311
腔内照射	23	5
組織内照射	0	1
温熱療法		

(イ)年間照射回数：平成24年4月1日から平成25年3月31日

※TBIなどの1日2回照射は2件としてカウントしてください。

照射方法	外来	入院
1門または対向2門	689	135
非対向2門または3門	1525	907
4門以上または運動	5196	2539
IMRT	3329	628
2部位目 (2時間以内の 2回目照射)	1門または対向2門	0
	非対向2門または3門	18
	4門以上または運動	0
	IMRT	0
術中照射	0	0
定位照射(頭頸部)	0	144
定位照射(体幹部)	148	39
TBI	0	78
腔内照射	89	23
組織内照射	0	6
温熱療法		

# 放射線治療

(ウ)年間治療計画数：平成24年4月1日から平成25年3月31日

※ 照射野の変更は、別途1件としてカウントしてください。

※ 2部位は2件としてカウントしてください。

照射方法		外来	入院
1門または対向2門		42	18
非対向2門または3門		114	78
4門以上または運動		360	192
IMRT		186	24
2部位目 (2時間以内の 2回目照射)	1門または対向2門	0	0
	非対向2門または3門	3	1
	4門以上または運動	0	3
	IMRT	0	0
術中照射		0	0
定位照射(頭頸部)		0	144
定位照射(体幹部)		32	6
TBI		0	26
腔内照射		89	23
組織内照射		0	6

(エ)高線量率腔内または組織内照射数と内訳：平成24年4月1日から平成25年3月31日

部位	延べ治療人数		延べ照射回数	
	入院	外来	入院	外来
子宮	5	23	23	89
組織内(子宮)	1	0	6	0

# 放射線治療

(オ)低線量率密封小線源治療数と内訳：平成24年4月1日から平成25年3月31日

線源	部位	治療数
125-I	前立腺	9

## 4. 照射装置の稼働延長時間

① 平日日勤帯以外で、日常的に外照射の稼働延長を行っていますか？。(緊急照射は除外)

- 行っている。  
 行っていない。

② 稼働延長を行っている病院にお尋ねします。

1日平均で、延べ何時間・台の延長を行っていますか？。

外照射装置	1日延べ	<input type="text" value="2"/>	時間
治療計画装置	1日延べ	<input type="text"/>	時間

【例】2時間3台延長しているとするば、6時間と記載ください。

※昼休み稼働は、1時間の稼働延長として含めてください。

## 5. 遠隔治療計画支援

- 実施していない  
 実施している(他施設から支援を受けている)  
 実施している(他施設に支援を行っている)